

令和5年度 第10回みやま市教育委員会定例会 会議録

◆召集日時 令和6年1月31日 午前10時00分

◆召集場所 みやま市役所山川支所 大会議室

1. 出席教育長・教育委員（5名）

- ・教育長 待鳥 博人
- ・委員 井上 正明
- ・委員 宮本 篤
- ・委員 北原 八州子
- ・委員 大塚 美智恵

2. 欠席委員（0名）

3. 事務局出席者（10名）

- |                      |        |
|----------------------|--------|
| ・教育部長                | 藤吉 裕治  |
| ・教育総務課長              | 堤 則勝   |
| ・学校教育課長              | 末 吉 建  |
| ・指導室長                | 姉川 左希子 |
| ・社会教育課長              | 山田 利長  |
| ・学校教育課長補佐兼<br>学務担当係長 | 河野 成嗣  |
| ・教育総務課長補佐兼<br>総務担当係長 | 牛島 美千子 |
| ・学校再編推進担当係長          | 中島 豊晴  |
| ・学校給食担当係長            | 石橋 将和  |
| ・指導室主任指導主事           | 松藤 桂輔  |

4. 傍聴人（0名）

5. 議事日程

- (1) 会期の決定について
- (2) 会議録作成者の指名について
- (3) 会議録署名委員の指名について

- (4) 議案第 22 号 みやま市立小中学校教職員の人事異動内申について
- (5) 協議事項 「みやま市自殺対策推進協議会」委員候補者の推薦について
- (6) 報告事項
- (7) 次回教育委員会について

## 【午前 10 時 開会】

### 【教育長】

元日に発生した能登半島地震、2 日の羽田の航空機事故、3 日の鳥町食堂街での大火災と今年の初めは大きな災害や事故が相次いだ。亡くなられた方のご冥福をお祈りし、避難されている方々にお見舞い申し上げます。

さて、新年を迎え、校長会では、教職員一人ひとりが児童生徒の様子を、アンテナを高くして、しっかり見守り、悩みや不安を受け止めていただくようお願いした。

令和 6 年も、みやま市教育委員会は学校と市教育委員会が緊密に連携して「子どもにとって、行きたい、学びたい、楽しい学校づくり」をめざす。

みやま市教育大綱の、基本理念「みやまに学び、みやまを愛し、みやまに生きる人づくり」に基づき、児童生徒に、あいさつ、掃除、整理整頓などの凡事徹底を浸透させたい。教育施策について、みやま市学校教育の特色と捉え推進するのは次の 2 点である。

一つはワンヘルス教育の推進。ワンヘルスは市全体で取り組んでいる。

今年はさらに体験学習の充実や市外へ向けた実践の発信を行いたい。

次にキャリア教育。児童生徒が高い志を持ち、自己のよさを生かして、進路実現ができるような能力や態度を育成する。小中学校と高校の様々な交流を進める。

社会教育では開かれた教育課程を実現する地域学校協働活動の推進、みやま市の誇れる文化財の保護・継承、市立図書館の充実、文化・スポーツでの様々なイベント・活動を計画・実施する。

教育活動の、根底にあるのは子どもたちの健康・安全である。いじめ不登校への組織的な対応などを学校に指示している。

高校入試は、県立高校の特色化選抜実施状況で、みやま市内中学生の山門高校志願者は、第 10 学区の多くの高校で特色化選抜が実施され、志願者数の増減が各校で見られた。山門高校がみやまの子供たちにとって「行きたい学校」になるよう、キャリア教育の一環として推進する。

最後になるが、教職員の配置で定数が小中学校ともにぎりぎりの状況。人材育成も十分できない。県に働きかけ、教員採用の在り方など働きかけていきたいと思う。

それではただ今より令和5年度第10回みやま市教育委員会定例会を開会いたします。

日程第1 第10回みやま市教育委員会定例会の会期は1日間とする。

…全員同意

日程第2 会議録作成者は、教育総務課長補佐兼総務担当係長

牛島 美千子とする。

…全員同意

日程第3 会議録署名委員の指名については、教育長と宮本委員とする。

…全員同意

日程第4 議案第22号

■みやま市立小中学校教職員の人事異動内申について

【教育長】 ・本協議は非公開とする。

【指導室長】 ー資料を基に説明ー

【教育長】 ・質疑等ありませんか。

「質疑等省略」

日程第5 協議事項

■みやま市総合計画審議会委員の推薦について

【教育総務課長】 ー提案理由の説明ー

【教育長】 ・大塚委員を推薦します。

【大塚委員】 ・承諾しました。

日程第6 報告事項

■教育部長

【教育部長】 ・3月議会一般質問、予算審査特別委員会等について

・教育委員会関連行事について

・1月寒波の影響について

## ■教育総務課

【教育総務課長】 ・令和5年度小中学校卒業式及び令和6年度小中学校入学式の告示者について

- 小学校卒業式（3月14日 10時開式）
- 中学校卒業式（3月8日 10時開式）
- 令和6年度入学式

小学校：4月11日 中学校：4月10日

・高田小学校建設の基本計画について

1月19日の全員協議会において了承いただいた。今後、設計業務を早急に進める予定。

資料図面①②に基づいて説明

建設場所については、児童の動線においてより安全性を確保すること、児童の教育環境を早期に整えること、建設工事期間の学習への影響を最小限に止めること等からグラウンドに建設とする。（図面①）施設の規模については、児童数に見合い、学校行事に支障がない面積を基本とし、併せて今後の廃校体育館や社会体育施設を補完できるように、ミニバスケットボールコート2面を有する約750㎡のアリーナ面積とする。付帯施設については、地域の皆さん方が集い、楽しく生き生きと活動する拠点整備（支館機能）として、二川支館の事務所及び会議室を併設する。また、防災の面では会議室は災害時の避難場所としての活用も可能な施設として整備し、加えて児童と大人兼用の男女別トイレ及び多目的トイレを設置する。外構については児童の安全確保のため、校舎玄関前敷地内道路については一般車両の通行を規制する。また、通行規制に伴い、一般車両用としてグラウンド東側を通る車道を整備する。保護者の送迎、体育館利用者の利便性を図るため、体育館南側に駐車場を整備する。完成の時期だが、令和7年8月末の完成、9月から使用開始を目指していきたい。

本日、教育委員会において説明した内容で、正式に基本計画という形で進めていきたい。

【教育長】 ・図面①の案で進めていく。議会の方でも了承は得た。設計業務に取りかからないとぎりぎりの時期なので、お示しした建設費をもう少し精査しながらではあるが、来年度の当初予算に計上したい。

## ■学校教育課

- 【学校教育課長】 ・海苔の寄贈について  
1月15日に有明海漁連から1人1袋の海苔を寄贈いただいた。給食で提供する。

## ■指導室

- 【指導室長】 ・入試状況について  
伝習館高校以外はすべて特色化選抜が取り入れられ、また不合格者も出ている。学校の方でも、進路指導については今までのやり方ではなく、新しい入試制度に向け行っていかなければならないという課題が生じている。最終的に進路決定したら、数値等も公開したい。その中で見えてくる成果と課題があると思うので、その辺りもご報告していきたい。キャリア教育の視点で、入試がゴールになるのではなくて、通過点であるということを再度認識しながら学校教育を進めていかなければならないと考えている。
- ・教育研究所の発表について  
2月27日開催予定。

## ■社会教育課

- 【社会教育課長】 ・1月7日 二十歳の集い  
参加者292名（対象者302名の内）
- ・1月20日 国指定重要無形民俗文化財の大江の幸若舞上演  
大江小学校児童9名参加（5年生6名、6年生3名）
- ・2月10日 あいさつ日本一推進大会
- ・2月17日 みやま市人権・同和教育研究協議会 社会教育部会 研修会  
場所：みやま市総合市民センター  
時刻：12時30分開場、13時開会  
講師：落語家の露の団姫さん
- 【教育長】 ・報告事項を以上で終了する。全体を通して質疑等お受けしたい。
- 【宮本委員】 ・新体育館建築後の現体育館の使い道や跡地についてはまだ決まってないということだが、決まるまでの間は古い体育館は使えるのか。使えるようにしておいた方がいいと思う。

- 【教育総務課長】 ・使用禁止ということではなく、例えばスクールバスの待機場所としてなど、学校の方で有効活用してもらうのも1つだと考えている。学校活動の中で使ってもらうことはできる。
- 【宮本委員】 ・新しい体育館の防災機能について説明されたが、避難所になるのは体育館ではなく、会議室ではなかったか。
- 【教育総務課長】 ・以前は避難所として体育館が指定されていたが、今は学校が避難所となっている。クーラーが効く教室等を全部使用しているが、それでも足りない場合にはこちらで補完する形を考えている。
- 【宮本委員】 ・体育館に避難する人はあまりいないのでは。
- 【教育長】 ・能登半島地震のような大きな災害の時には、体育館にテントを張って対応することもあるだろう。
- 【大塚委員】 ・市民から、できれば二十歳の集いをお昼から開催してもらえないかという声を沢山耳にしている。女性は着付けのために、朝4時、5時から美容室を予約している現状がある。近隣の柳川市ではお昼から開催されているらしい。
- 【北原委員】 ・私もそういう声を聞いたことがある。コロナ禍では、午前と午後と分けた時があった。
- 【教育長】 ・そういう声が上がっているということで、社会教育で次年度に向けて検討をお願いしておく。
- 【井上委員】 ・インフルエンザの状況はどうか。
- 【学校教育課長】 ・昨日時点で、インフルエンザとコロナを合わせて全校で58名である。先週ぐらいから少しずつ増えており、先週末がピークで、昨日は少々下がった。学級閉鎖についても、桜舞館小学校で本日2クラス。明日以降の学級閉鎖は見込まれていない。推移を見てみると、下がりつつあるが、まだ注意が必要な状況である。
- 【北原委員】 ・学級閉鎖は、インフルエンザとコロナの方を含めたところで欠席数をみるのか。
- 【学校教育課長】 ・そうである。
- 【宮本委員】 ・学級閉鎖の際は、タブレットを使って宿題等を出されたりしているのか。
- 【学校教育課長】 ・学校によっては、タブレットを持ち帰らせているところもある。
- 【宮本委員】 ・家庭学習をさせるような場合があるということか。

- 【学校教育課長】 ・そういう場合もあると聞いている。
- 【宮本委員】 ・なるべく、そういうものを使ったほうがいい。
- 【井上委員】 ・関連して、GIGA スクール構想はどのような進捗状況か。
- 【学校教育課長】 ・パソコンを導入したのが令和 2 年で、今は全ての子ども達、それから先生方にタブレットが行き渡っており、できる限りタブレットを使って授業を進めていこうという状況である。今後は、その成果を見ていく必要があるが、今は ICT を使った授業を進めていこうという段階である。
- 【井上委員】 ・近隣の市では、生徒がどのサイトに何回アクセスしたかが、教育委員会で分かるようになっている。みやま市ではどうか。
- 【学校教育課長】 ・みやま市では、教育委員会でアクセス数等を把握できるようなシステムにはなっていない。
- 【井上委員】 ・それはどこに聞けば分かるのか。
- 【学校教育課長】 ・業者にアクセス履歴等の把握ができるかどうかを確認しなければならぬ。おそらく把握するとなると、業者を介してという形になるだろう。
- 【指導室長】 ・例えば、学校で様子がおかしいと思う子がいた時には、教育委員会に尋ねて、誰が何時頃どのようにアクセスしていたかを調べることができる。実際に去年は学校にいた時に調べて、証拠を見せて指導している。そのようなシステムはある。教員がその辺りを把握している。
- 【教育長】 ・今の教科書も非常に良くなって、QR コードが必ず付いている。それをタブレットで読み取って入っていくと、膨大な量の情報が示される。いい面で使えば、百科事典並みの勉強ができる。それから不登校の対応でオンライン授業をしたという話があった。
- 【指導室長】 ・適応指導教室「さくら」と学校でやりとりをし、そのような使い方もしている。特に ICT 関係については、教育研究所で、今年は今教頭先生を対象に、来年は教務主任や研究主任に向けての研修を進めていく予定。今後、入試も方法が変わっていくので、それに対応できるように進めているところである。
- 【教育長】 ・入試も変わっていくし、全国学力テストもタブレットで受けることができるが、まずは使えないとどうしようもない。
- 【宮本委員】 ・制限はかかっているのか。
- 【指導室長】 ・かけている。変なところにアクセスはできない。

- 【井上委員】 ・ 高校入試の話があったが、もうこの時期に高校が決まっている中学生がいるわけだが、今から1ヶ月半、そういう中学生には誰がどんな指導を行うのか。
- 【指導室長】 ・ とにかくきちんと授業を受けさせる。それからキャリア教育の一環で、高校入試がゴールではなく、義務教育で習った分は習熟して次に上がるというところを中学校で指導している。また、高校が課題を出されているところもある。
- 【井上委員】 ・ 高校は課題を出さなければいけないのか。
- 【指導室長】 ・ 課題を持ってこられるところもある。
- 【井上委員】 ・ まず、中学校の教育をどうするのかという話だと思う。かつては、卒業まで中学校の先生が指導していた。今のように高校が課題を出すことを本当は、中学校は断らないといけないと思う。中学校の卒業式も早まり、小学校も早まり、春休みをどうするのか。
- 【指導室長】 ・ その時期を充実するかしないかで4月のスタートが大きく違うと考えている。校長先生方とこの学期が一番大事だということ、学年で学ぶ内容を落とさないことをしっかりと話している。
- 【教育長】 ・ 今までの中学生のほとんどは、8割から9割が県立高校一般入試を受験していた。ところが今では、2割ぐらいになってしまっている。ご指摘があったように、1月から3月の過ごし方を、中学校の校長会でもう一度考えてもらわなければいけない。卒業式のあり方についても、今では2月の中旬ぐらいにほとんど進路が決まってしまうので、その後をどうするのかということだ。県立高校の一般入試を受ける子どもの数も減り、子どもの数自体が減ってきたことで、私学と県立の取り合いが起こっている。非常に難しいところだ。ただ、4月からの高校生活に向け、中学校では、学力をある程度付けて送り出さないといけないだろう。
- 【指導室長】 ・ 3月までは義務教育なので、そこはしっかり学習するように校長会で話していきたいと思う。
- 【北原委員】 ・ 進路が決まるのが早い生徒と、一般入試に向けて頑張っている生徒が同じ教室で学習しているが、授業や生徒への影響はあるのか。
- 【指導室長】 ・ 学校としては、受験は団体戦という言葉もあるように、先生方が一丸となり、しっかり意識してもらっている。12



月の下旬ぐらいから進路が決まる子もいるが、学級経営の話にもなり問題も出てくると思うので、学校と話をしていきたいと思う。

日程第7 次回教育委員会について

◎次回定例会 令和6年2月16日（金）午前10時～

【教育長】

これで本日の日程は全て終了しました。  
令和5年度第10回みやま市教育委員会定例会を閉会します。

【午前10時50分 閉会】